

ごあいさつ



理事長

山下俊彦

皆さまには、平素より新潟県信用組合(略称:けんしん)をお引き立ていただきまして、誠にありがとうございます。

皆さまから当組合に対するご理解を一層深めていただけますよう、ディスクロージャー誌「けんしんの現況2009」を作成いたしました。経営方針や最近の財務状況、業績などをできるだけ分かりやすくご説明させていただくことを心がけましたので、ご高覧いただければ幸いに存じます。

平成20年度は、年度後半からの世界的な景気減速により、日本国内でも幅広い業種で減産の動きが広がり、経済金融環境は大幅に悪化いたしました。

このような環境の下、当組合は「第13次中期経営計画(19~20年度)」にそった取り組みを行いました。

県内一円に業務を展開する「広域型信用組合」という当組合の特質を生かすため、「店質に特化した営業戦略」の徹底を図ってまいりました。融資面での対応強化に積極的な取り組みを行うとともに、多様化するお客さまのオーダーにお応えするため、新たな金融商品の提供やATM等のサービス機能充実に努めてまいりました。

本年4月より「第14次中期経営計画(21~22年度)」をスタートさせ、テーマを「融資への集中」といたしました。市況に影響されることなく、本業を通じて安定した収益を確保することを最重要目標とし、経営資源と経営計画の重点目標を融資推進に集中させて取り組んでまいります。また、自然環境保護に向けた取り組みについては、引き続きプレミアム金利付定期預金「緑百年物語」の取り扱いを通じ、県内緑化活動への協力を行うほか、今年度からは新たに「緑・エコカーローン」の取り扱いを開始いたしました。

“地元を見つめ、地元とともに”60年の歴史を刻む当組合が、今後さらに皆さまから親しまれ信頼される金融機関としてお役に立てますよう、役職員一同全力をあげて邁進する所存でございます。

今後とも変わらぬご支援、ご愛顧を賜りますよう心からお願い申し上げます。

平成21年7月